

《報道発表》

“ボーネルンドのクリスマスフェア 2017”

働く親のあそびの悩みに応える「あそべんとカレンダー」本日公開
あそびのプロ直伝、“3 分でできる” あそびのヒントが満載！

～働く親の 7 割が「平日一緒に遊ぶ時間が少ない」。「子どもとのあそびに満足」は 36.0% ～

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に教育玩具の輸入・開発・販売とあそび環境開発を行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)では、全国の店舗およびオンラインショップにおいて、「未来のきっかけを、贈ろう。」をテーマに、「ボーネルンドのクリスマスフェア 2017」を 2017 年 12 月 25 日まで実施しています。

このフェアの一環として、子どもとのあそびのヒントを 1 日 1 個、計 24 個提案する「あそべんとカレンダー」を、当社オンラインショップ内 (http://ec.bornelund.co.jp/shop/pages/campaign_christmas2017_calendar.aspx) にて 11 月 24 日に公開します。また、12 月には、これらのあそびを親子で体験できる「ボーネルンド あそびの教室」を全 4 回開催します。

このカレンダーは、家族を想うクリスマスシーズンに向けて、親子でより充実した時間を過ごせることを願って、忙しいパパとママでも取り組みやすいよう、3 分で簡単にできるあそびをイラストで紹介します。ワクワクや発見のあるあそびを生み出す“あそびのプロ”である、当社の「インストラクター」(ショップ)と「プレイリーダー」(キドキド)が伝授するユニークなあそびの数々。積み木、ねんどなど、定番のあそびを新しくするヒントが満載です。



「あそべんとカレンダー」の企画背景 ～働くパパ・ママの、子どもとのあそびの悩みに応える～

当社が働くパパとママを対象に調査を行ったところ、98.4%の親が子どもの成長に「あそび」は重要だと考える一方で、自身と子どもとのあそびに満足しているのは 36.0%にとどまり、「(平日に)一緒に遊ぶ時間が少ない」(75.9%)、「ながら遊びになりがち」(52.0%)、「あそびがマンネリ化している」(79.4%)など、子どもとのあそびに悩みを抱えていることがわかりました。(※調査結果の詳細は別紙ご参照)

この結果を受けて、明星大学教育学部教育学科教授 星山麻木先生は、「子どもとのあそびの時間は、一日に時間帯を定めて、『その時だけは、向かい合って一緒に遊ぶ』と決めると良いでしょう。遊ぶというのは、一緒に楽しみ、笑い、感動する時間。3 分でも 5 分でも、他のことはお休みして、思い切り大人も楽しみましょう。子どもと遊ぶには、『気持ちのやりとり』が大切です。見守ったり、励ましたり、一緒にたくさん笑いましょう、そうすれば、遊ぶ時間が短くても大丈夫。ストレスの解消にもなります。」と述べています。

「あそべんとカレンダー」の概要

【名 称】 あそべんとカレンダー

【公開期間】 2017 年 11 月 24 日(金)～2017 年 12 月 25 日(月)

【アドレス】 http://ec.bornelund.co.jp/shop/pages/campaign_christmas2017_calendar.aspx

< 1 日 1 個のあそび (例) >

1  つみきくずし くずすのだって立派なあそび。くずれる仕組みを理解できれば、積むコツもつかめる。 つみき	2  からーはんと 積み木とおんなじ色を探してみる。おなじ“赤”でも、いろんな“赤”が見つかる。 つみき	3  しえいぷはんと 積み木とおんなじ形を探してみる。家のなかを探しつくしたら、今度は外にでかけよう。 つみき
--	---	--

※別紙にて全てのあそびを紹介しています

「ボーネルンド あそびの教室」の実施

“あそびのプロ”であるショップの「インストラクター」やキドキドの「プレイリーダー」と一緒に、「あそべんとカレンダー」で紹介しているあそびを、親子で体験できる「ボーネルンド あそびの教室」を実施します。

日時	場所	対象
12 月 2 日(土) 13:30～14:00	ボーネルンドあそびのせかい マークイズみなとみらい店 (神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-5-1 MARK IS みなとみらい 3 階)	親子 (パパ)
12 月 5 日(火)、6 日(水)、7 日(木) 13:30～14:00	ボーネルンド本店 (東京都渋谷区神宮前 1-3-12 ジブラルタ生命原宿ビル 1 階)	親子

※「あそびの教室」はご取材も可能です。取材を希望される場合は、事前にご連絡をいただけますようお願いします。

【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健全な成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開しています。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 83 カ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千カ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる室内あそび場「キドキド」事業をスタート。キドキドでは、体育理論に基づいたボーネルンドオリジナル遊具やあそびのプロ「プレイリーダー」のサポートにより、子どもの興味と身体の動きを引き出しながら、発達段階に応じた多様なあそび体験を全国 22 店舗で提供しています。「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の室内あそび場を含めると、全国約 30 箇所、年間 300 万人以上の親子が訪れています。

＜ 報道関係の方のお問い合わせ先 ＞	
株式会社ボーネルンド 広報室 担 当：金山、村上 T E L：03-5785-0860 E-mail：public-relations@bornelund.co.jp	株式会社プラップジャパン 担 当：丸山、竹之下 T E L：03-4570-3191 E-mail：bornelund@ml.prap.co.jp
＜ 一般の方のお問い合わせ先（ご掲載用） ＞	
株式会社ボーネルンド	TEL：0120-358-518（月～金 10:00～17:00）

<参考資料>

「あそべんとカレンダー」全 24 のあそび

	あそび	あそびの説明	分類
1	つみきくずし	くずすのだって立派なあそび。くずれる仕組みを理解できれば、積むコツも。	つみき
2	からーはんと	積み木とおなじ色を探してみる。おなじ“赤”でも、いろんな“赤”が見つかる。	
3	しえいぶはんと	積み木とおなじ形を探してみる。家のなかを探しつくしたら、今度は外へ。	
4	たっちはんと	積み木とおなじ素材を探してみる。木でできたものは、あんなところにも。	
5	たんぐらむ	積み木の「面」をかたどり“絵合わせ”のようにしてあそぶ。	
6	おとぐらむ	積み木のどこどこをぶつけて鳴らした音かを探り当てる。	
7	ねんどぼとる	どっちが長く伸ばせたか、薄くつぶせたか。ねんどの特徴を生かしたあそび。	ねんど
8	ねんどもしゃ	テキトーな形をねんどでつくる。子どもがじっくり観察し、その形を再現する。	
9	からーめいく	異なる色のねんどを混ぜて、あたらしい色をつくる。使ったねんどを探し当てる。	
10	ふだんぶろつく	身のまわりの家具や生活用品をブロックでつくる。	ブロック
11	さうんどはんと	テレビを消して耳をすますと、いろんな音が聞こえる。場所を変えると音も変わる。	おと
12	おとしゃべり	言葉に音をつけて会話する。手をたたいたり、楽器を鳴らしたり。	
13	おのまとペ	身のまわりの音がどう聞こえるかを共有しあう。感じ方はそれぞれ。	
14	あきたらかくす	遊ばなくなったおもちゃは隠してみる。久しぶりに出すと、成長に応じた遊び方をしている。	アドバイス
15	おとながい	あそび道具選びに悩むときは、親自身が好きなものを選ぶのもあり。	
16	おとなごと	ままごとの最中に、あえて“オトナの食べ物”を言ってみる。	ままごと
17	ぶらすひとこと	「ハンバーグ」に「あつあつの」と付けてと表現する。子どもに創意工夫が生まれる。	
18	がらすたぐらむ	くもった窓ガラスに指でお絵かき。冬の朝の日課に。作品を SNS に投稿するのも。	おえかき
19	おちばあーと	拾った落ち葉に絵を描く。色や形がさまざまなので、アイデアもふくらむ。	
20	げんかいてすと	ボールを何個まで持てるか親子でチャレンジ。体のどこを使ってもOK。	ボール
21	ぶんぎょう	ミニカー遊びで、パパやママは道路や街をつくる人になる。オトナもたのしめる。	ミニカー
22	めんせつごっこ	ぬいぐるみを使って面接。とにかくパパやママが繰り返し質問。	ぬいぐるみ
23	ふくろきやっち	ビニール袋を落としてキャッチ。落とすものを変えれば、スピードや動きも変わる。	そのた
24	さむさはんと	“寒い”を感じる要素を探す。「白い息」「冷たい窓」など。	そのた

子どもの「あそび」に関する調査結果

<考察>

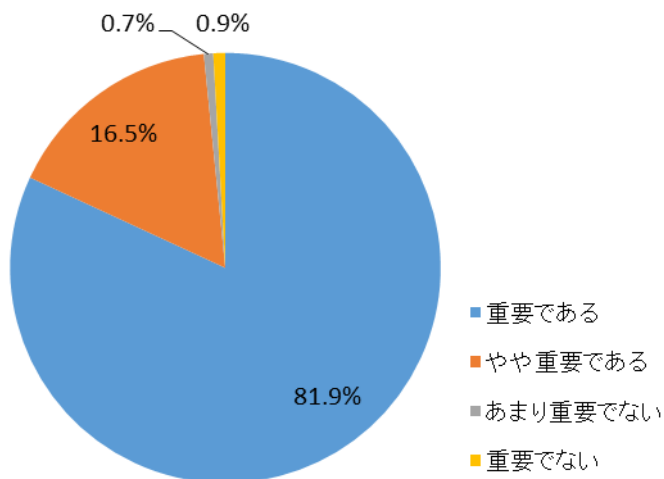
2 歳から 6 歳の未就学児の子どもを持つ、フルタイム勤務のパパとママ(計 431 名)に調査を行ったところ、98.4%のパパとママが子どもの成長にとって「あそびが重要である」と考えているものの、自分と子どもとのあそびに満足しているのは 36.0%と、3 割程度にとどまりました。

その背景として、共働きがゆえに、特に平日に「子どもと一緒に遊ぶ時間を十分に取れていない」と考える人が 75.9%にのぼることがあげられます。また、時間の悩み以外にも、家事をしながら、スマホ・TVを見ながらなどの「『ながら遊び』になりがち」(52.0%)だったり、「あそびのバリエーションが少ない」(36.9%)といった遊び方の悩みも抱えているようです。実際に、75.2%が「子どもと一緒に遊んでいるときにスマートフォンを閲覧・操作することがある」、また 79.4%が子どもとの「あそびがマンネリ化していると感じる」、と回答しています。

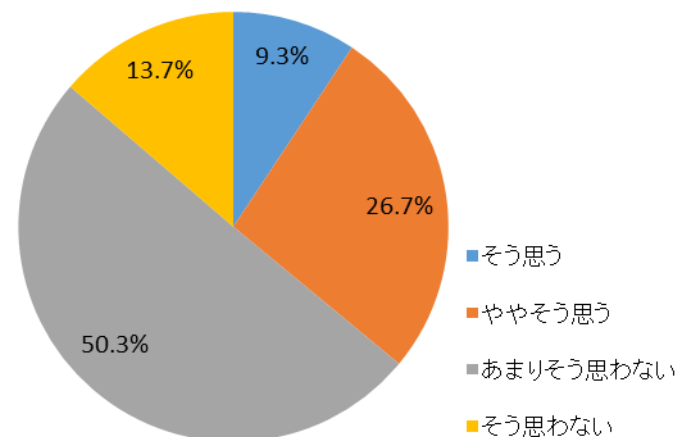
今回の調査では、子どもにとってあそびは大切と考える一方で、忙しい毎日のなかで、子どもとしっかり向き合って遊ぶ時間や心の余裕がない、また自身の子どもとの遊び方にも悩みを抱えているという、働くパパとママの実態が浮き彫りになりました。

<調査結果>

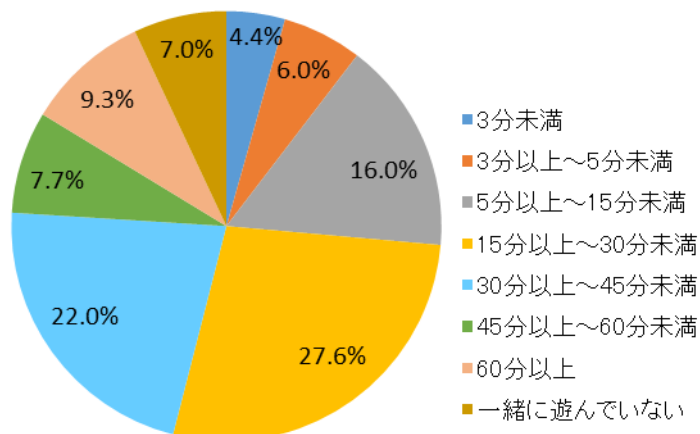
子どもの成長にとって、「あそび」はどれくらい重要だと思いますか。(n=431、単数回答)



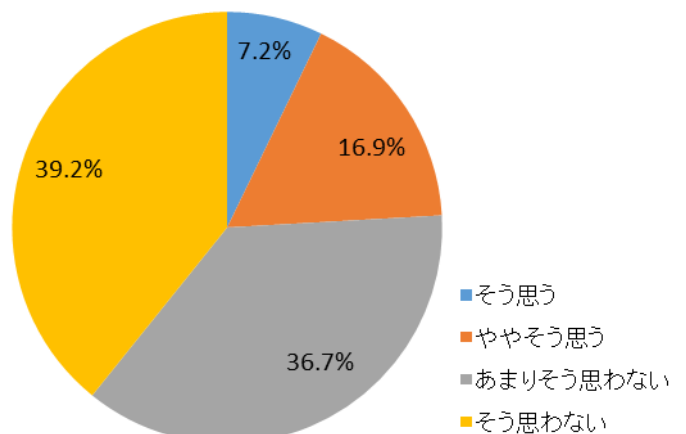
子どもとのあそびに、満足していますか。(n=431、単数回答)



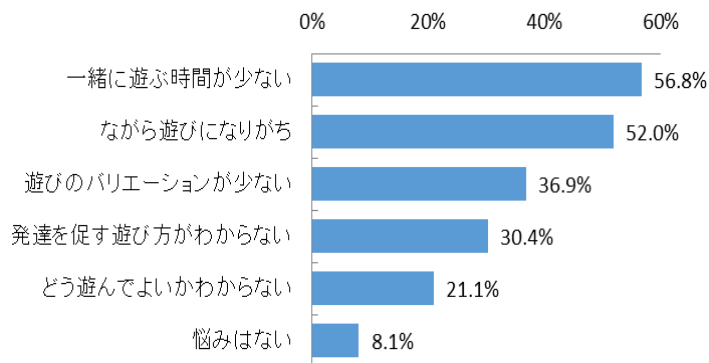
「平日」にどのくらいの時間、子どもと「一緒に」遊んでいますか。(n=431、単数回答)



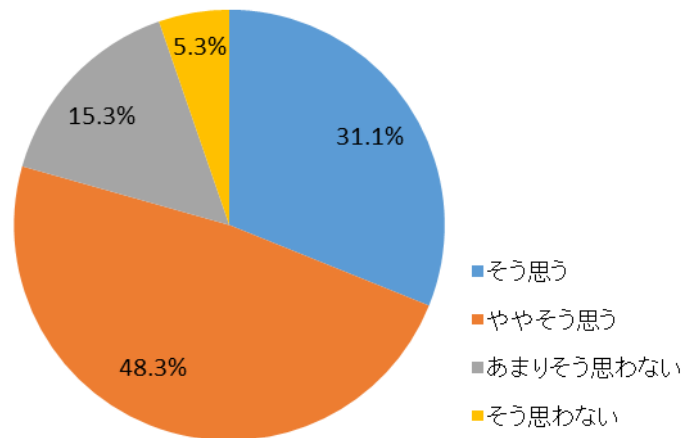
「平日」に、子どもと「一緒に」遊ぶ時間を、十分に取れていると思いますか。(n=431、単数回答)



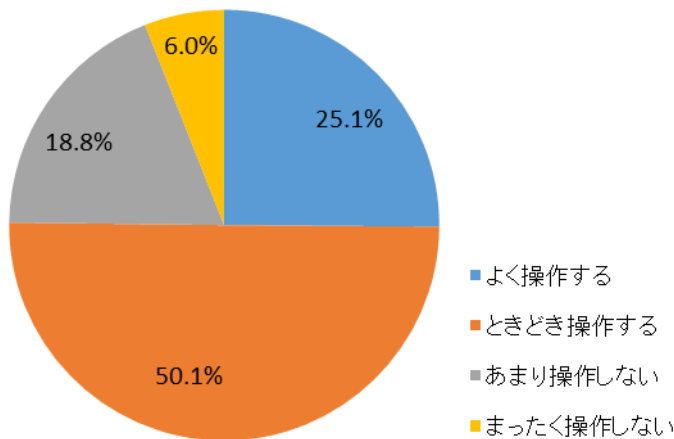
子どもと一緒に遊ぶことにおいて、どのような悩みがありますか。(n=431、複数回答)



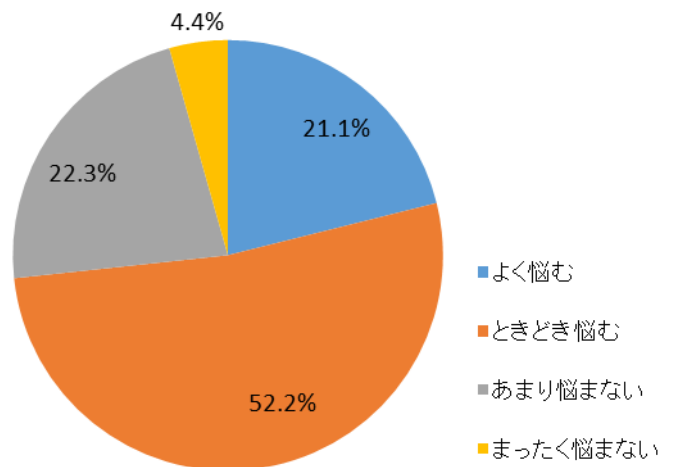
子どもと一緒に遊んでいて、あそびがマンネリ化していると感じることがありますか。(n=431、単数回答)



子どもと「一緒に」遊んでいる時に、スマートフォンを閲覧・操作することはありますか。(写真・動画撮影を除く)
(n=431、単数回答)



どんなあそび道具を子どもに与えるか、悩むことはありますか。
(n=431、単数回答)



<調査概要>

【調査時期】 2017 年 11 月

【調査対象】 全国の 2 歳～6 歳の未就学児の子を持つ、フルタイム勤務の男女 431 名
(男性 221 名、女性 210 名)

【調査方法】インターネット

以上